



たまねぎ



発行日：令和7年12月5日

1. 卸売価格の動向

○244円/kg (12月2日)

➢ 年比：172%

○12月の価格見通し

平年を上回って推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○440円/kg

(11月14日全国平均)

➢ 前月比：117%、平年比：170%

➢ 東京：349円(3玉)

➢ 大阪：98円(1玉)

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：5/20(前月7/20)

➢ 大阪：6/10(前月6/10)

(機関調べ)

3. 家計消費動向

○379g/人 (10月全国平均)

➢ 前月比：93%

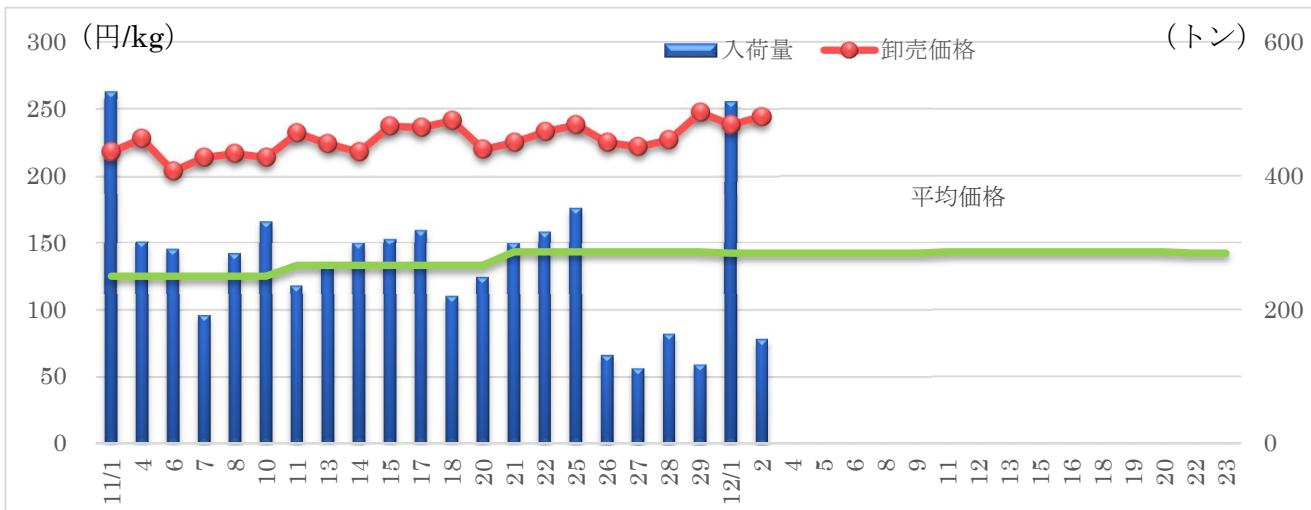
➢ 前年同月比：81%

○5,187g/人 (2024年年間)

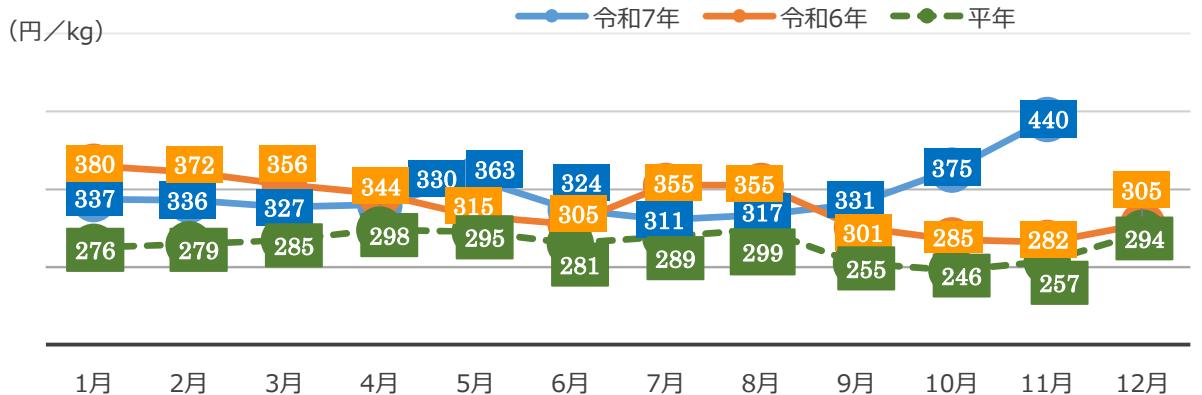
➢ 前年比：98%

(総務省統計局家計調査)

4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. たまねぎの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢市 (8/27)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
静岡県浜松 (11/12)	前年並み	平年並み	平年並み	-
愛知県碧南市 (5/19)	前年並み	平年並み	遅い	遅い
兵庫県淡路島 (7/4)	前年並み	やや良	早い	平年並み
香川県三豊 (6/5)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛媛県西条市 (7/31)	やや減少	やや不良	やや遅い	遅い
佐賀県白石 (6/10)	減少	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



静岡県浜松：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報（12/6～1/2）

週 別 の 天 気				
12/6～12/12 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。				
12/13～12/19 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。				
12/20～1/2 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
平均気温（1か月）		降水量（1か月）	日照時間（1か月）	
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並50 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
西日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並が高い見込み	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

(気象庁 1カ月予報)

8. 輸入動向（生鮮たまねぎ）

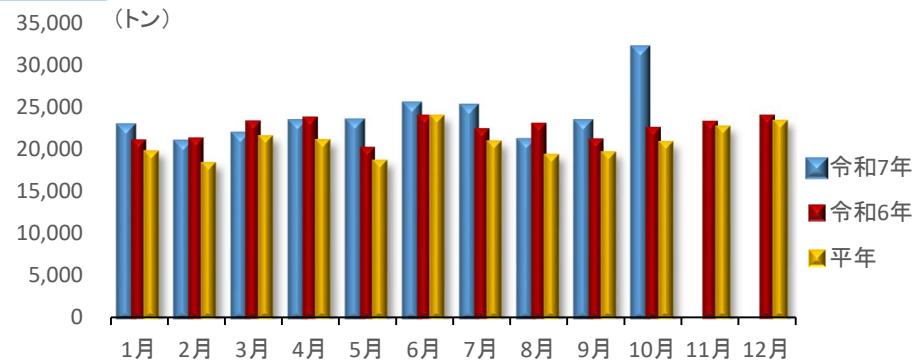
○31,827 t (10月輸入量)

➤ 前年同月比：142%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 28,359トン
- 2位 米国 3,292トン
- 3位 オランダ 124トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

8月～3月は北海道産が中心の出回りとなるが、定植遅れ、高温・干ばつにより不作。小玉傾向が続いており高値で推移した。

12月も引き続き北海道産の出回りとなるが、品種の切り替わりにより小玉比率が高まる。出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>
<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793